

石川県内には、数多くのNPOが活動しています。このコーナーでは、県内のNPOのリーダーにインタビューし、特色や現状などをシリーズで紹介しています。今回は、リサイクルや自然保護の啓蒙活動を展開している金沢エコライフ工房代表の鯉野 正さんにお話をうかがいました。

「自然環境にやさしいライフスタイルを提案し、日常生活に浸透させたい」

金沢エコライフ工房代表 鯉野 正さん

古着の再利用や藍染め、エコッキングなどの教室を開催

——金沢エコライフ工房の取り組みについてお聞かせください。

鯉野 金沢市の戸室リサイクルプラザと東部リサイクルプラザを活動拠点に、リサイクルや環境保護に取り組んでいるグループです。組織は、「再資源工房」と「友自然工房」、「知エコロジー工房」の3つに分けられます。「再資源工房」では、リサイクルに関する各種教室を開いています。「友自然工房」は自然保護活動をテーマとした教室を。「知エコロジー工房」では、ライフスタイルをエコロジーの観点から見直す勉強会を開き、さまざまなアイデアを持ち寄り試しています。

——市民の参加も多いとうかがっています。

鯉野 教室は東部リサイクルプラザと戸室リサイクルプラザで、毎月10回以上のペースで開いており、平成14年度は年間延べ2000人の参加者を数えました。内容は、古着の再利用やクラフト、食器の金つぎ、植物画、ハーブ、押し花、藍染め、エコッキングなどさまざまです。講師は主に会員が務め、各方面からの幅広い要望に応える内容の濃い教室になっていると自負しています。最近は藍染めが人気ですね。

——設立のきっかけは。

鯉野 平成8年に旧紡績工場を改装した公設民営の金沢市民芸術村が開村し、ここを活動拠点にミュージック（音楽）、アート（芸術）、ドラマ（演劇）と並ぶ、リサイクルや環境保全に関わるグループとして生まれました。その後、平成12年、東部リサイクルプラザの建設を機に金沢市の構想に沿って芸術村から同プラザに移りました。そして、平成15年6月に、新たに戸室リサイクルプラザが建設され、同施設に工房とスタッフルームを設けさせていただきました。



リサイクルや環境保護を推進する各種教室を開催。写真は食器の金つぎ教室

——活動費は、金沢市からの委託料が大半を占めているとお聞きしましたが。

鯉野 はい。会則の活動目的にも「金沢市の委託を受けてリサイクルに関する人材育成と、市民への啓蒙を促す各種事業を推進し、実践活動を通して環境の大切さを啓蒙する」とあります。活動費の割合では、金沢市の委託料が全体の約8割で、残りが各種教室の参加費による自主財源です。

出前講座も開講し、ますます広がる活動の輪

——戸室リサイクルプラザが開館し活動拠点が広がったことで、スタッフ不足の心配はありませんか。

鯉野 ありますね。現在、29名の会員がいますが、最近では、金沢市の委託事業以外に、内灘町など他の自治体や公民館での出前講座も行っていますので、牛乳パック工作など教室の一部を手伝ってくれるボランティアスタッフを随時、募集している状態です。戸室リサイクルプラザは市街地から離れた山間地にあるので、通うにも交通費がかかるなど、経費負担も増えています。

——ボランティアを集め、継続して来てもらうのにも、お金がかかるんですね。

鯉野 出前講座など、活動範囲が広がるにつれて、いま述べたように人手と運営資金の面でいろんな課題が生まれています。活動費について話せば、出前講座を依頼される自治体や公民館は、「NPO団体だから無料だろう」と思われています。うちに限らず、NPOにとって自主財源の確保は重要ですので、関係者に有償サービスであることを理解してもらう必要があります。そのため、法人化も視野に置いた新たな展開を模索している最中です。

P R O F I L E



鯉野 正さん

金沢市在住。石川県生活協同組合連合会事務局局長などを経て、平成14年6月より金沢エコライフ工房の代表に就任。リサイクルや環境分野の仕事に携わった経験から環境保護に高い関心を持ち、現在、市民への啓蒙活動などに取り組んでいる。

【お問い合わせ】金沢エコライフ工房スタッフルーム
〒920-1105 金沢市戸室新保八604番地
戸室リサイクルプラザ内
TEL & FAX 076-236-1603
E-mail: info@ecolifekobo.jp URL <http://www.ecolifekobo.jp>

※この冊子は再生紙を使用しております。

いしかわ NPO

【特集】

今一度考える「NPOって何だろう？」
平成15年度協働推進モデル事業紹介

ニュース

● INFORMATION

県からのお知らせ
NPO・ボランティア情報
助成金ニュース

● リーダーズVOICE

金沢エコライフ工房代表
鯉野 正さん



石川県

URL <http://www.ishikawa-npo.jp>

今一度考える「NPOって何だろう？」

NPO法(特定非営利活動促進法)が平成10年12月1日に施行されて5年が経ち、石川県にも100を超える認証団体が誕生しました。その間、「NPO」という言葉がマスコミに登場する機会が増え、社会での認知度も上がりました。今後ますますNPO活動が活発になると予想される中、これからNPOを立ち上げようとしている方や、すでにNPOを運営している方も、今一度改めてNPOの本質について考えてみませんか。



平成15年度 NPO協働推進 モデル事業紹介

NPOと行政との協働を推進するための「NPO協働推進モデル事業」が昨年度に引き続き平成15年度も行われ、県では応募のあった28件の中から福祉・環境・雇用・教育の4分野・5件の事業を採択しました。今回は、モデル事業に採択された団体の代表者に、事業内容や経過などをお聞きしました。



雇 用



NPO法人 ゆう和会 <志雄町>

代表者/田代 裕子 お問い合わせ/0767(29)3170

[活動内容] 痴呆対応型共同生活介護事業、送迎・移送サービス、介護保険外の高齢者・障害者支援

事業名 障害者社会参加の為に就業準備事業

事業内容 障害者の方の職業能力開発や雇用機会の拡充を目的とし、志雄町にある3カ所の公共施設で指導員と障害者が一緒に清掃や除草などの作業を行っています。作業を通して仕事を覚え、障害者の方の就業につなげようという狙いです。現在、羽咋郡市在住の障害者3名の方と、2名の指導員がいます。作業は月曜日から金曜日の午前9時から午後2時となっています。

事業のきっかけ ゆう和会のグループホーム(痴呆対応型共同生活介護)で働いている障害者の方がいらっしゃり、毎日、まじめに仕事に取り組んでいる姿を見て、「介護の世界でもいずれ、障害者の方たちの力を生かせるようになる」と実感しました。しかし、現状ではなかなか就業先が見つかりません。ですから、自立して社会に出る準備をお手伝いさせていただこうと、事業を立ち上げました。



福 祉



NPO法人 オリーブの会 <七尾市>

代表者/福多 昌子 お問い合わせ/0767(52)6414

[活動内容] 相互扶助による有償の助け合い活動(会員制、家事援助・外出補助など)

事業名 地域福祉情報サロン

事業内容 地域福祉の現場で活動している生協と農協、NPOの3団体間のネットワーク組織を立ち上げ、「地域福祉情報サロン」を拠点に活動を展開します。鹿島町の南部ふれあい交流館(ラポールみおや)の一室にあるサロンにはコーディネーターを常駐させ、「地域福祉サービス」や「ボランティア・NPO活動」に関する相談を受け付け、地域住民へ各種情報を提供します。生協と農協、NPOが協議する場を設けることで、それぞれの団体の長所を生かした福祉の実践の可能性を探っていきます。

事業のきっかけ 地域住民は福祉に関する悩みごとを行政に相談します。しかし、行政側が、地元の市民活動団体の実態を把握しきれていない現実があり、スムーズなサービスを提供できていません。そこで、福祉分野の情報収集や情報発信能力を持つ市民互助団体のネットワーク組織を整備し、そのネットワークを用いて地域住民にきめ細かな福祉サービスを提供したいと思いつけました。



福 祉



NPO法人 竹の浦夢創塾 <加賀市>

代表者/松中 滋 お問い合わせ/0761(73)8812

[活動内容] 地元の伝統料理(魚・野菜の糠漬け、味噌、そば)の提供や販売、工芸教室(木彫教室、木の人形作り、ガラス工芸、染め・織り教室)、アウトドア体験

事業名 子供たちに伝える地域の伝統料理を用いた地産地消事業

事業内容 廃校となった小学校を利用した「竹の浦夢創塾」で、地元の伝統料理教室を開催し、料理を楽しみながらレシピを学んでもらいます。そして、各家庭でも地元産の食材を利用した伝統料理を作ってもらい、子どもの食生活の改善につなげてもらうとともに、地産地消を進めていきたいと考えています。また、子どもに伝統工芸や伝統料理を教えるスタッフの養成も行っています。

事業のきっかけ 近年、農業や漁業従事者の高齢化にともない、農業では作付面積の減少が進んでいます。また、ファーストフードが、若年層の食生活の中心になりつつあります。ですから、子どもの健全育成のために、食生活を見直して「安心・安全・地産地消」をコンセプトにした伝統料理の継承に努めようと思いました。同時に地元産の食材を積極的に使うことで、地産地消の気運を高め、農業や漁業の活性化にもつなげたいと考えました。



教 育



NPO法人 起業ネットかなざわ <金沢市>

代表者/山内 司 お問い合わせ/076(263)1492

[活動内容] 起業支援事業(セミナー・勉強会の開催、相談・アドバイス)

事業名 ショーバイって楽しいぞ 一子どもたちのための起業体験学習

事業内容 子どもたちが経営者や消費者を演じて商品売買を疑似体験する体験学習会を開催し、社会や経済の仕組みを学ぶほか、自立性や創造性、行動力をも身につけてもらいます。最終的には、ビジネスのおもしろさや大変さを実感していただき、チャレンジ精神や起業家精神を持った人材を育成したいと考えています。

事業のきっかけ 社会・経済環境が激変する今日、変化に対応できる資質や能力を備えた人材が求められています。そこで、数多くのビジネスセンスを持つ人材や、起業家精神にあふれた人材を育成することが、将来的に地域経済の発展につながると考え発案しました。



環 境



NPO法人 アーティストネットワーク石川 <松任市>

代表者/櫻木 清 お問い合わせ/076(277)4220(松任商工会議所内)

[活動内容] アートを通して、まちづくりの推進や芸術・文化の振興、環境保全を図る「自然とアートを楽しむ体験教室」(海編・山編)を開催

事業名 「自然とアートを楽しむ体験教室・その可能性を探り活用する事業」

事業内容 Part1では、石川県河内村のふるさと保養センター・清流で「自然とアートを楽しむ体験教室-川編-」を開講。子どもたちが石や流木を使ったアート作品作りや、豆電球をともしミニチュアの水力発電所作りを体験します。Part2では、体験教室の事例発表を交えたフォーラムを開催し、Part3で体験教室を活用したプログラムを作成して事業化を考えます。

事業のきっかけ 2年前、「子どもたちに自然の中で新しい発見と感動を」と思い体験教室を始めました。最初は予算もなく、スタッフの熱意だけで運営していました。そんな中、次第に理解者が増えていき、2年間続けることができました。今後も、子どもたちにアートを通じて、感じることや考えること、表現することの楽しさを伝える体験教室を継続し、事業化に向けた第一歩として応募しました。

INFORMATION

県からのお知らせ

広坂庁舎敷地内の工事が完了しました。

このたび、石川県NPO活動支援センターが同居している広坂庁舎の敷地内で行われていた建物解体工事及び駐車場整備工事が完了いたしました。

これまでの駐車場からセンターへお越しいただくには、工事区域を避けて大回りせねばならず、大変ご迷惑をおかけしていましたが、今回センター建物に近接して駐車場が整備されたことにより、大変ご利用いただきやすくなっております。

皆さんの活動にぜひ当センターをご活用ください。

メールマガジン「あいむ通信」発行のお知らせ

「あいむ通信」は、石川県NPO活動支援センターが発行するメールマガジンです。NPO・ボランティアに関するイベントや助成金情報等を月1~2回程度配信します。

メール配信は無料です。

また、「あいむ通信」に掲載する情報を募集しています。情報の掲載をご希望される場合は、当センターホームページの「掲示板」に直接情報を掲載いただくか、メール・FAX等で情報をお寄せください。

石川県NPO活動支援センター
〒920-0962 金沢市広坂2-1-1
石川県広坂庁舎2号館2階

お問い合わせ先 TEL 076-223-9558 FAX 076-223-9559
URL <http://www.ishikawa-npo.jp>
E-mail npo@pref.ishikawa.jp
担当 岩城、奥

NPO・ボランティア情報

災害時のボランティア活動に関する研修会

石川県民ボランティアセンターでは、災害時のボランティア活動が円滑かつ有効に遂行されるよう、下記の研修会を開催することを予定しています。

●災害ボランティア受入担当者研修会

- 実施時期/平成16年2月頃
- 実施場所/能登地区・加賀地区・金沢地区
- 対象者/県、市町村職員及び社会福祉協議会職員
- 参加費/無料

●災害ボランティアリーダー研修会

- 実施時期/平成16年2月頃
- 実施場所/能登地区・加賀地区
- 対象者/県内企業、各種団体、NPO及びボランティアグループのリーダー
- 参加費/無料

(財)石川県民ボランティアセンター
〒920-0962 金沢市広坂2-1-1
石川県NPO活動支援センター内

お問い合わせ先 TEL 076-223-9558 FAX 076-223-9559
URL <http://www.ishikawa-npo.jp/volunteer/>
E-mail e130500a@pref.ishikawa.jp
担当 吉川、山崎

「いしかわのボランティア」発行のお知らせ

石川県民ボランティアセンターでは、県民の皆様がより一層ボランティア活動に参加しやすい環境づくりを支援するために、「いしかわのボランティア」を配布しています。

この冊子は、本県で今年10月11日・12日に開催された「第12回全国ボランティアフェスティバルいしかわ」に合わせ、同実行委員会と共同で制作したもので、県内のボランティア団体やNPOの活動内容の紹介などが掲載されています。

配布をご希望の方は、次までご連絡ください。

(財)石川県民ボランティアセンター
〒920-0962 金沢市広坂2-1-1
石川県NPO活動支援センター内
TEL 076-223-9558 FAX 076-223-9559
URL <http://www.ishikawa-npo.jp/volunteer/>
E-mail e130500a@pref.ishikawa.jp
担当 橋本

賢い消費者のためのシックハウス対策セミナー

環境アレルギー調査研究会・北陸では、消費者や患者の立場に立ったシックハウス対策セミナーを企画しました。講師には、シックハウス研究の第一人者である東京大学大学院の柳沢幸雄先生と、愛知県庁建築部の川島康治さんをお招きし、今まで誰も語らなかった「シックハウス本当の話」をお聞きします。

さらに、シックハウス対策に成功した患者自身が、自宅の建築例をご紹介しますので、是非、ご参加ください。

- 日時/平成16年2月22日(日)午後1時~5時
- 場所/石川県地場産業振興センター 第1研修室
- 内容/基調講演、シックハウス対策成功建築例など
- 参加費/無料
- 定員/150人(要予約)
- その他/無料保育室あり(2月5日申込締切)

環境アレルギー調査研究会・北陸
〒924-0023 松任市成町1271
TEL/FAX 076-276-5079
URL <http://www.kanazawa-net.ne.jp/~ka-ken/>
E-mail ka-ken@kanazawa-net.ne.jp
担当 瀬川

申し込み
お問い合わせ先

助成金ニュース

笹川スポーツ財団 平成16年度SSFスポーツエイド

- 対象団体/
(1)任意団体で規約・会則があり、団体としての取り決めや経理処理ができるスポーツ団体
(2)社団・財団またはNPOの法人格を持つスポーツ団体
- 対象事業/
申請するスポーツ団体が主催する事業で、平成16年4月1日から平成17年3月31日までに開催される大会、教室・講習会、国際交流、スポーツプログラム、スポーツキャンプの事業
- 補助金額/限度額50万円~200万円、補助率50%~80%(事業種別により設定が異なります。)
- 受付期間/平成16年1月5日(月)~1月31日(土)消印有効

(財)笹川スポーツ財団 業務課 業務課
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16
TEL 03-3580-5854 FAX 03-3580-5968
URL <http://www.ssf.or.jp>
E-mail aid@ssf.or.jp

申し込み
お問い合わせ先

全国冠婚葬祭互助協会 社会貢献基金助成

- 目的/この募金は、地域の種々の災害の救済、社会福祉事業、環境保全事業、国際協力など社会貢献活動を行う各種団体等への助成、並びに社会貢献に資する調査・研究を目的とした事業に対する助成を行い、以て日本の生活文化と地域社会の発展に寄与することを目的としています。
- 応募資格/非営利組織(財団法人、社団法人、社会福祉法人、NPO法人、その他任意団体、市民ボランティアグループも対象となります。)又は大学、研究機関(個人も可)で、今回募集する助成対象事業の趣旨に合致する事業を行おうとしている団体等
- 対象事業/
(1)研究事業[婚礼(結婚式)、葬儀(お葬式)など儀式文化の調査研究]
(2)高齢者福祉事業
(3)障害者福祉事業
(4)児童福祉事業
(5)環境・文化財保全事業
(6)国際協力・交流事業
- 助成金額/総額1000万円、1件あたり200万円上限
- 募集期間/平成15年10月1日~平成16年2月29日(日)必着

(社)全日本冠婚葬祭互助協会事務局
社会貢献基金助成公募受付係
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-6-2
第2秋山ビル7F
TEL 03-3433-4415 FAX 03-3435-0880
URL <http://www.zengokyo.or.jp>
E-mail webmaster@zengokyo.or.jp

申し込み
お問い合わせ先

セブンイレブンみどりの基金 平成16年度第1期 環境市民ボランティア活動助成

- 対象団体/日本国内において「環境」を主テーマとして活動している下記のいずれかに当てはまる団体
(1)「環境の保全を図る活動」を活動目的として認証されている特定非営利活動法人(NPO法人)
(2)環境市民ボランティア団体(任意団体)
- 活動分野
(1)自然環境保全
(2)地域環境美化
(3)体験型環境学習
(4)生態系保護(環境省が定める「レッドリスト・レッドデータブック」で絶滅危惧に分類されている動植物の保護に関わる生態系保護活動に限る)
(5)環境パートナーシップに基づくまちづくり・地域づくり
- 活動の種類
(1)実践活動
(2)調査・研究活動(実践及び啓発につながる活動を条件とする)
(3)普及啓発活動
(4)環境市民ボランティア間のネットワーク活動
- 対象期間/平成16年3月1日~翌年2月末日までの1年間
- 応募締切/平成16年2月29日(日)必着
- 助成金額/活動の目的を達成するために、どうしても必要なものをご申請ください。場合によっては、申請された項目のうち部分的な助成になることもありますのでご了承ください。



今回の特集では、「NPOって何だろう?」と問い直すことで、改めてNPOの本質について考えるきっかけを提起しました。各々のNPOが今後発展していくためにも、自らの活動を振り返り、初心に立ち返ることは大変重要だと思います。この「いしかわNPOニュース」も開始から4年目を迎えました。NPOの皆さんに役立つ情報をお届けできるよう、これまで以上に努力していきたいと考えています。皆さんのご意見をお寄せください。

セブンイレブンみどりの基金
環境市民ボランティア活動助成事務局
〒105-0013 東京都港区浜松町1-27-9
新浜松町ビル6階
TEL 03-5733-2526 FAX 03-3435-1065
URL <http://www.7midori.org>
E-mail oubo@7midori.org

申し込み
お問い合わせ先

科学技術振興機構 理科大好きボランティア支援

- 対象事業/
(1)実験教室(保護者・成人向け教室を含む)
(2)科学工作教室
(3)自然観察教室
(4)天体観測教室
(5)その他(サイエンスショー等)
- 活動規模・支援額/
(1)広範な科学技術理解増進の観点から、1回の活動の参加者数は10名以上とします。
(2)支援限度額は10万円とします。
- 支援の対象/実験や科学工作に使用する消耗品、講師・ティーチングアシスタント(TA)の謝金や交通費、会場借り上げに必要な費用等
- 申請資格/各地域で科学技術理解増進活動を行ってきた地域ボランティア個人及び営利を目的とせず、青少年の科学技術の理解増進活動を行えると思われる地域グループ等
- 申請期間/常時受け付け
- 実施期間/4月1日から翌年3月31日までの各年度内

科学技術振興機構
科学技術理解増進部 理科大好きボランティア担当
〒102-0084 東京都千代田区二番町3番地
麹町スクエアビル2F
TEL 03-5214-7493 FAX 03-5214-8430
URL <http://www.jst.go.jp/rikai/rikadaisuki/volunteer.htm>
E-mail rikasuki@jst.go.jp

申し込み
お問い合わせ先

「あいむ」からのお知らせ

- 本誌に関するご意見、ご要望をお寄せください。お寄せいただいたご意見等は、制作に生かすほか、本誌に掲載してまいりたいと考えています。

INFORMATION利用案内

- 本誌は6月、9月、12月、3月の年4回発行する予定です。情報掲載希望の方は、おのおの前月の15日までに、事業の概要(企画書、チラシ等)を郵送、ファクシミリ等でお送りください。(その際には、「いしかわNPOニュース」掲載希望とお書き添えください。)
- ファクシミリの場合は、送信後必ず着信の確認をしてください。
- 政治、宗教、営利を目的とする活動は掲載できません。
- 誌面の都合により、お寄せいただいた情報を掲載できない場合があります。また、事前に掲載の可否の連絡はいたしませんので、ご了承ください。
- 掲載料は無料です。
- 送り先: 石川県NPO活動支援センター「あいむ」
〒920-0962 金沢市広坂2-1-1
石川県広坂庁舎2号館2階
TEL 076(223)9558 FAX 076(223)9559
担当/岩城、奥



石川県NPO活動支援センター
「あいむ」
〒920-0962 金沢市広坂2-1-1
石川県広坂庁舎2号館2階
TEL 076(223)9558 FAX 076(223)9559
URL <http://www.ishikawa-npo.jp>
eメール npo@pref.ishikawa.jp